



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2016年11月号 No.372

小鳥の森で観察してみよう 61

キクガシラコウモリ

分類：キクガシラコウモリ科

大きさ：6～8cm(頭からお尻まで)

生態：昼間は洞穴ですごす。
鼻から超音波を出して虫を捕まえて食べる。

小鳥の森での観察：
昼に、ネイチャーセンターの壁につかまって寝ている姿が稀にみられます。



佐々木淳也

今回の絵は、佐々木淳也さんが描いてくれました。



11月の自然予報



11月になると、園内では冬鳥が渡ってきます。人気のルリビタキやベニマシコなどが確認できるでしょう。

ルリビタキは標高の高い所から低い所へ、ベニマシコは北海道や樺太など、北から南下して小鳥の森へやって来ます。

また、この時期は、木々が葉を落とし始めますので、野鳥の姿を観察するには適しています。

雪の降る前に小鳥の森で冬鳥観察はいかがでしょうか。

昨年11月に確認した野鳥

11月15日	ルリビタキ
11月28日	ベニマシコ
11月29日	ウソ
11月29日	キクイタダキ
11月29日	シロハラ
11月29日	ミソサザイ



ルリビタキ



ベニマシコ



10月の自然



10月になり、小鳥の森も実りの秋になりました。実りと言っても、リンゴやナシのような果物ではなく、ウメモドキ(赤)、チゴユリ(黒)、オトコヨウソメ(赤)、ミヤマガマズミ(赤)など、5~10mmほどの可愛らしい実りです。

この大きさは、実を食べる鳥たちの口の大きさにぴったりで、鳥たちにとって、厳しい冬に備えるための大切な食べ物になります。

植物が緑から赤や黒などに色づいて鳥たちへ合図する仕組みを「二色効果」と言います。

植物と鳥たちの持ちつ持たれつのは関係は、私たちの目にも鮮やかに映ります。小さな秋が楽しめた10月でした。



ウメモドキ



オトコヨウソメ



チゴユリ

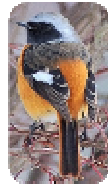


ミヤマガマズミ

小鳥の森スタッフだよ!

雪予報

風や雲の動き、生き物の行動などから天気予報することを^{かんてんぼうき}観天望気といい、^{ことわざ}諺としても残っています。生き物たちを観察して今年の雪予報をしてみませんか。



・「渡り鳥早い年は雪が多い」

北から渡ってくる渡り鳥は冬が深まるにつれ、南下してきます。早く渡って来たということは寒さが急速に進んだことになり、冬が長くなる傾向があります。このため雪も多くなるようです。

冬鳥ジョウビタキ

・「カマキリが高いところに産卵すると大雪」

積雪を予測して産卵する高さを変えているという調査・研究を実際に行った人もいます。結果に関しては、賛否両論あるようです。ちなみにカマキリの卵は雪に埋もれても孵化するようです。



カマキリの卵 (卵のう)

この他には、

「カメムシが大量発生すると雪が多い年になる」
「高山に早く雪が降るとき大雪にはならない」
など、雪や寒さに関するものは他にもあり、中には「ホントかな?」と思うものも。
当たるかどうか調べてはいかがでしょうか。
(レンジャー 長渡 真弓)

福島大学附属小学校が

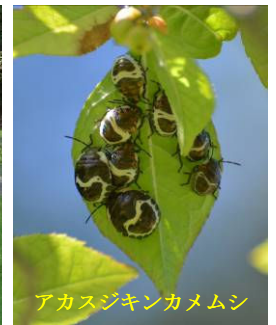
来園しました

9月9日に福島大学附属小学校の4年生が、小鳥の森で自然観察を行いました。

ヤマジノホトトギスの花を見つけたり、草むらの昆虫を観察したりしながら園内を約2時間散策しました。

中にはアカスジキンカメムシの幼虫やアリジゴク(ウスバカゲロウの幼虫)を見つけた子もいたようです。

春にも一度訪れていたため、春の森と今回の森の違いなどにも驚いていました。季節による森の移り変わりを感じていたようです。



アカスジキンカメムシ

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。

詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

※小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間: 午前8時30分~午後5時
《入場無料》 休館日: 毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ... <http://www.f.kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2016年11月号No.372/企画・発行: 福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま

